関西文化学術研究都市
津田サイエンスヒルズ まちづくり協議会ニュース

発行所
津田サイエンスヒルズ
まちづくり協議会
〒573-0128
枚方市津田山手2-9-5
大阪大学内
TEL (072)858-5901
FAX (072)858-5904
(題字:墨アーティスト樋笠幸三書)

第二京阪道路 22年3月開通!!

津田から大阪・京都まで約25分

第二京阪道路の開通にあたり、去る8月7日、国土交通省・浪速国道事務所の所長和田卓氏、技術審査係長の酒井享氏が、工事の進捗状況の説明に、津田サイエンスヒルズまちづくり協議会の会長佐々木啓益氏の会社を訪れた。

国道事務所からは、工事が順調に進めば、来春の3月末に開通・津田地域から大阪・京都方面に、それぞれ約25分位となり、移動時間が大幅に短縮されるとのこと。

その上、第二京阪道路の利用に関するアンケートについて、まちづくり協議会の皆様から意向を聴取したいとの話があり、代表して役員からのアンケートを集計、国土交通省・浪速国道事務所に要望を提出した。

津田サイエンスヒルズ連絡橋に京阪バス・大型車などの通行が多い。

連絡橋に信号機の設置を。

車の接触事故多し!!

第二京阪道路や周辺道路の利用状況は現在は枚方東ICを多いに利用しているが枚方南IC・交野北ICができると利便となる。

しかし、津田サイエンスヒルズ連絡橋に京阪バスがスパバレイ枚方南のバス停から進入、さらに枚方国際ゴルフ場方面からの車の出入り、津田サイエンスヒルズ行き帰りの車が多く、接触事故が多発していた。現在はガードマンで車を誘導しているが、開通後は、第二京阪の一般道・副道から連絡橋に進入するのでその時は工事のガードマンもいないため、車の接触や、地元の小学生・中学生の通学道路になっており人身事故も考えられる。

そのために連絡橋周辺の車の流入調査を行い、速やかに信号機の設置を関係先に要望する。

【第二京阪道路】津田サイエンスヒルズアクセス(位置図)

凡例(第二京阪道路)
専用部(高速道路)
一般部(一般道)
副道(機能復旧道路)

インターチェンジ(※名称は仮称)
注)枚方東IC(京都方面出入りのみ)
枚方南IC(大阪方面出入りのみ)
交野北IC(京都方面出入りのみ)

津田サイエンスヒルズ掲示板

第2回ボーリング大会

48チーム 192名参加

3月6日　牧野松園ボウルにて

団体戦で優勝したアスクBチームの山下氏

個人戦で優勝した高園産業の今別府氏

ボーリング大会成績表

団体戦	優　勝	アスクBチーム(長倉貞・長倉京・金城・山下)
	準優勝	アスクAチーム(喜田・砂守・町田・藤間)
	3　位	高園産業Eチーム(嘉重・木下・黒原・合屋)
個人戦	優　勝	今別府　学(高園産業)
	準優勝	山下　篤哉(アスク)
	3　位	能美　将英(伸和製作所)

第2回親睦交流ゴルフ大会

5月16日　枚方国際GC

7組28名参加

津田サイエンスヒルズ杯第2回親睦交流ゴルフ大会が去る5月16日、枚方国際ゴルフクラブで開催した。

この大会に津田サイエンスヒルズまちづくり協議会の経営者、従業員など7組28名が参加。親睦交流を目的としており、各企業のメンバーが重ならないように組み合わせを行い、晴天にめぐまれ、お互いの交流対話の中での楽しいプレイができた。

ゴルフ大会成績表

優　勝	植田　信雄	(植田工業)
準優勝	植田　信一	(植田工業)
3　位	能美　一夫	(伸和製作所)
4　位	中田　幹夫	(アスク)
5　位	山下　篤哉	(アスク)

優勝した植田工業の植田信雄氏にトロフィー

青空のもと勢揃いしたゴルフを楽しむ参加者(スタート前にて)

この夏見事に咲いたひまわりの笑顔 枚方技研(株)の道路側

事務局のお世話に感謝!

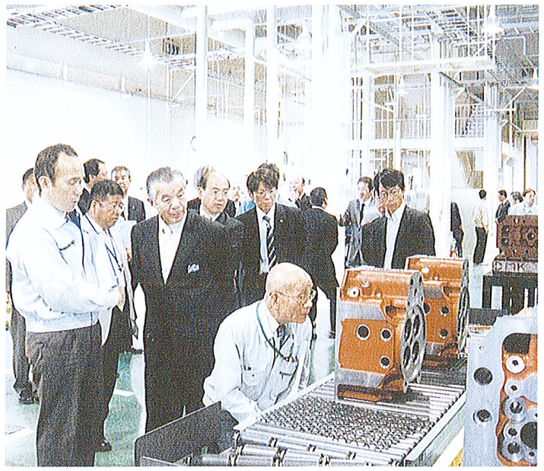
阪大の枝廣員美さん

まちづくり協議会の事務局は、常勤職員が不在のため、大阪大学の自由電子レーザー研究施設の事務員枝廣員美さんが電話の対応や来客の接待でお世話になっております。当協議会として心から感謝しています。

21年度まちづくり協議会 総会開催

津田サイエンスヒルズまちづくり協議会の平成21年度総会が去る4月22日、告事業報告21年度の事業計画、予算計画も承認された。終了後、伸和製作所新社屋の第2工場を見学した。

総会では、20年度の会計報(株)伸和製作所の会議室で行われた。当日は、来賓として枚方市長竹内脩氏当会顧問の大阪府議会議員鈴木和夫氏、枚方市議会議員出井宏氏も駆けつけ挨拶を頂き、大阪府・住宅供給公社、枚方市の各担当者の方も出席した。



伸和製作所新社屋第2工場見学会で熱心に視察する会員ら

枚方市産業活性化支援補助金決定

枚方市では、地域貢献型ビジネスや中小企業活動支援の分野において、ユニークなビジネスモデルを創造しているなど、地域活性化において相当の効果があると認められている団体に補助金交付制度を創設している。この交付制度に対し、津田サイエンスヒルズまちづくり協議会は各立地企業の事業内容や技術集団としてのイメージアップを図るためのHPや紙媒体を通じての情報発信などを積極的に取り組むために、5つの課題に対し、予算を計上。この度枚方市より活性化支援事業補助金として50%の支援が決定した。

津田サイエンスヒルズ 入口に広告塔の設置

津田サイエンスヒルズの広告看板の設置について、当初第二京阪開通にあたり、吉泉産業の北東側に横長の看板を計画していたが、第二京阪道路が完成に近づき、近隣の住民対策のための防音装置の遮へいをつけることになり、道路側から看板が見えにくくなることが判り、急遽役員会を開催。津田サイエンスヒルズの連絡橋を渡った吉泉産業の右側方面にタテ型の広告塔を設置することにした。

この予算については、津田サイエンスヒルズ推進協議会へ大阪府・枚方市・府住宅公社財団法人府産業基盤整備協会による90%の支援補助金により設置可能となる。10月末頃には完成予定。

10月末完成予定

HP(ホームページ)リニューアル

当会をキーステーションとして枚方市・大阪府との連携を図りながら近畿のみならず全国・世界に情報を発信するために現在のHPに各企業の製品・技術、サービスの情報を中心に発信。公式HPでは簡単なトピックスとハイライトを掲載するため年内にHPのリニューアルを行う。

ホームページアドレス
津田サイエンスヒルズ
まちづくり協議会
ホームページアドレス
http://tsuda-science.jp
メールアドレス
matikyou@tsuda-science.jp

TSUDA SCIENCE HILLS

広告塔完成イメージ図

各企業のロゴマークを記載します。

タテ4m×ヨコ1.8m
支柱15cm角

株式会社 河内金属製作所

現場力強化で新規を開拓

総務部取締役
岡　大二郎　氏

昨年10月、5軸制御の複合旋盤を導入し、複雑な加工にも対応、工程集約にも貢献した。これらの技術を支える測定設備も充実しており、お客様から信頼を得ている。

「創業当時はレコードプレイヤー部品が主で、35年経った今でも台数は減りましたが現行モデルとしての生産は続いています」と話すのは岡大二郎総務部取締役。

同社は、昭和32年、門真市で創業した。

その後、守口市に移転し、昭和59年には枚方工場を稼動させるまで成長。しかし多忙になるにつれて、問題が出てきたという。

「工場が分散していると、非常に効率が悪く、集約を検討していたところ、津田ヒルズの誘致の話を聞きました」

現在の場所に移り、早速効果が現れる。

「効率も良くなりましたし、社員のモチベーションもあがりました」

現在では創業当時から取引のあるパナソニック(株)など大手メーカーを含む約100社との取引があり、旋盤マシニングセンタ、加工など幅広くものづくりに携わる仕事を請け負う。

不況の影響は少なからずあるというが、大口契約の話もあり、現場の意欲は高まりつつある。

「今年はこれまでと違った業界の新規取引先を増やしていきたいと思っています。テーマは"現場力強化"です」

河内金属正面玄関の花壇

津田ヒルズ立地企業を訪ねる

当エリアに入居している企業の業務内容や社会的意義を順次紹介

高園産業 株式会社

調剤機器分野でシェア1位を！

開発技術本部
開発管理部　部長
長野　敏也　氏

高園産業株式会社は、医療機器及び調剤機器の分野で、調剤薬局における日本一のシェアを誇る。

いわゆる「医薬分業」などの流れを受けて、業績を右肩上がりに伸ばした。

創業は昭和38年。処方せんに基づき薬をパックする手動式分包機を商品化。その後は、調剤作業を自動で行なえる自動分包機の開発により需要の拡大と信頼を得て事業は急成長。

「この自動分包機の普及により調剤作業の自動化とシステム化への流れが加速してきた」と長野部長は語る。

自動分包機の開発により服用時の誤飲をふせぐ為に一回に飲む薬を一つの袋に入れるという一包化も普及し、患者さんに対してのサービスと薬局業務の効率化が計れる機器とシステム化が市場に歓迎された。同社がヒルズに入居したのは平成17年。その後、(株)イオンテクノセンター内を研究開発センター本館とし機器開発部を、システム開発部や品質管理部門などは研究開発センター(別館)に集結させた。

08年3月時点で売上高は約193億円、従業員数は同4月時点で780名にまで成長。

だが、国内市場の成熟も考慮し今後は「海外戦略も当然立てている」という。

人の命を預かる現場への機器開発業務となるだけに、常にプレッシャーとの戦いが強いられるが、同時にやりがいにもつながっているという。

歴代ヒット商品
パックメイト21A型
(昭和52年発売)